



**考えよう！
取り組もう！
SDGs**

苧田町立南原小学校



南原小学校 SDGs学習の取組

南原小学校では、2021年度から総合的な学習の時間にSDGsについて学び、SDGs推進の提案を行ってきた。



2023年度は・・・

- ・SDGsとは何かを学び、17の目標や取組内容を調べる。
- ・調べた内容を共有し、SDGsの取組として自分達にどんなことができるか、苅田町にどんな提案ができるかを考える。



SDGs新聞



THE GLOBAL GOALS



みんなで達成しようSDGs目標4

4 質の高い教育をみんなに



SDGs目標4新聞

12月号

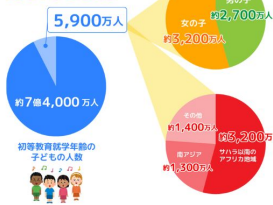
2023.12.19

質の高い教育とは？

子供のこ、障害や男女の差などをよく考えて、学校の施設を作ったり、直したりすべての人に安全で暴力のない誰も取り残されないような学習のための環境を作るといことです。すべての人々への公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の保身することを目指しています。持続可能な生活能力を与え貧困の連鎖を断ち切るだけでなくジェンダー平等などの達成にもいい影響を、与えます。

学校に行けない原因は？

教育を十分に受けることのできない子どもたち



戦争や紛争、学校や先生の数が足りない、家から学校までが遠い、先生として働いてもらえるお金が少ないからです。世界には読み書きができない人が約七億四千万人以上います。その三分の二が女性なのです。行けないという二つという、読み書きができないや将来収入が少なかったり、能力が必要な仕事にできない、病気になりやすい、満足に仕事ができないようになるのです。

目標達成のために私達ができることは？



みんなで達成しよう
この質の高い教育をみんなに達成するため、私達ができることは、①SDGsについて関心を持ち②語学を学び世界に目を向ける③SDGsに取り組んでいる企業を応援することです。私達が協力していくと、学校に通える子ども増え、目標のすべての人に安全で暴力のない誰も取り残されないような学習のための環境を届けることができます。みんなで協力していきましょう。

新聞



飢餓をゼロに



“飢えをなくし、だれもが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう”

飢餓とは？

飢餓とは、十分な食べ物を食べられずに栄養不足になり、健康を保持することができなくなった状態じょうたいのことをいいます。今、世界では約7.7億人※1が飢餓に苦しんでいます。これは世界人口の10人に1人の割合合いで、飢餓に苦しむ人の多くは、途上国に多く住む人たちです。飢餓が最も広がっている地域はアフリカで、どの地域いきでも飢餓に苦しむ人の割合合いがゆくりと増えています。そして、飢餓が人口が最も多いのはアジア（特に南アジア）で、4.3億人以上の人が飢餓に苦しんでいます。



SDGs 2の目標

SDGs「2.飢餓をゼロに」とは、世界中の人々が食べ物に困らない状況を目指すための目標です。日本で暮らすわたしたちにとって、飢餓状態に陥るなんて想像できないかもしれませんが、しかし、世界では常に食べるものに困っていたり、栄養バランスが偏ったりと飢餓に苦しんでいる人が存在します。

SDGs「2.飢餓をゼロに」は、そんな飢餓の中で暮らす人々をなくすための目標や取り組みべきことを掲げた目標です。

感想 残さず食べることで取り組んで行きたいと思った

SDGs 2の取り組み

SDGs「2.飢餓をゼロに」を達成するためには、以下のようにあらゆる方面から取り組むことが求められます。

- 貧しい人を優先して社会保障制度を充実させる
- 農家と市場がスムーズに繋がる流通網を整備する
- 持続可能で多様な作物を栽培できるように支援する
- 食料廃棄・ロスを減らす

編集後記

参考 SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」の取り組み内容とは？



苅田町の課題

- ・ジェンダー平等について正しく理解している人が少ない。
- ・女性の子育て・家事の負担が大きい
- ・女性の管理職が少ない。

改善・解決方法、取り組み

(個人)

- ・支援団体へ寄付
- ・ボランティア活動に参加
- ・家庭内の家事を分担
- ・男女の違いなく、個人の考えを尊重
- ・ジェンダー平等についての理解

(町全体)

- ・雇用条件や待遇などの見直し
- ・女性の管理職への起用
- ・ジェンダー平等理解のためのイベント

5 ジェンダー平等を
実現しよう





苅田町の課題

- ・ごみの量が多く、処理費用や処分場所に課題
- ・ダム貯水率が下がり、節水が必要などときがある。
- ・災害に対する備えが不十分

改善・解決方法、取り組み

(個人)

- ・マイバッグの持参
- ・ゴミ袋を持ち歩く
- ・こまめに水を止めて節水
- ・電気は使うときだけ
- ・各家庭で防災グッズを準備

(町全体)

- ・公園などにゴミ箱を設置
- ・ごみの持ち帰りを呼びかけるポスター
- ・再生プラスチックを使ったゴミ袋
- ・各学校に防災グッズを備える。

11 住み続けられるまちづくりを





苅田町の課題

- ・ごみの量が多い
⇒大気汚染、水質汚染
- ・リサイクル率が低い
- ・給食の残食が多い(食品ロス)

改善・解決方法、取り組み

- (個人)
 - ・必要な分だけ買う
- (学校)
 - ・給食で一人一口運動
 - ・残食が少ないクラスを紹介

- (町全体)
 - ・3Rを推進
 - ・リサイクルショップをつくる
 - ・フリーマーケットの開催

12 つくる責任
つかう責任





SDGs学習のまとめ

- ・ひとつの目標でも、いくつかの具体的なターゲットがあり、国や地域、立場の違いによって取り組むべき内容は異なる。
- ・SDGsの17の目標は、相互に関連し合っている。
⇒ひとつの目標を達成するための取組をしていくことで、複数の目標達成につながる。



私たち一人一人ができることを考えて積極的に行動していくことで、世界中の国が手を取り合い、「持続可能な世界」を実現することにつながっていく。まずは、苅田町のみんなで手を取り合って未来のために行動しよう！



